

平成30年3月15日付【建設工業新聞】

＜官民連携の発注方式を＞

国交省下水道部と意見交換 合同勉強会設置呼び掛け

水コン協

国交省下水道部と意見交換

官民連携の発注方式を 合同勉強会設置呼び掛け

全国上下水道コンサルタ
ント協会（水コン協、野村
喜一会長）は12日、東京都
内で国土交通省水管理・国
土保全局下水道部（森岡泰
裕部長）との意見交換会を
開いた。下水道施設を管理
する地方自治体の予算や職
員が減る中、民間事業者が

脆弱（ぜいじゃく）な自治
体の施工・維持管理体制を
補完しやすくなる発注方式
の構築を提言。その具体化
や普及に向けた課題を整理
する合同勉強会の設置を呼
び掛け、国交省もこれに応
じた。
冒頭あいさつした野村会

長は「上下水道事業の持続
的な発展に貢献していきたく
い」と述べ、「技術者が不
足している自治体でのPP
P・PFIの推進や多様な
発注方式について意見交換
したい」と呼び掛けた。

非公開で行われた意見交
換会では、執行体制が脆弱
な自治体の下水道施設の施
工や維持管理で増えている
PPP・PFI事業に対応
し、水コン協の会員各社が
参画しやすくなる発注方式
の構築を提言した。国交省

には合同勉強会の設置を求
め、国交省もこれに応じた。
具体的な参加機関や設置時
期は未定だが、おおむね1
年後に合同勉強会の議論の
結果をまとめる方向で一致
した。

水コン協によると、全国
の下水道工事ではDB（設
計・施工一括）方式の導入
が進んできている。国交省
も水管整備工事の発注で
DB方式の促進策を検討し
ている。



あいさつする野村会長
12日午前、東京・霞
が関の国交省で